

研究発表会の例 「地球の未来を守ろう」

研究発表会の例をもとに、ポイントを押さえます。



【司会者】

みなさん、こんにちは。今日は「地球の未来を守ろう」という学級のテーマをもとに、それぞれが研究したことをポスターセッションで発表します。はじめに、発表する内容を一人一分程度で話します。Aさんから、順にお願いします。

【発表者A】わたしは、地球の未来を守るためにできることは何かを、ゴミの問題に視点を当てて研究しました。ゴミの問題を調べて分かったびっくりするような事実や、未来への明るい展望をお伝えします。……。ぜひ、……。 (後略)

【司会者】これから、それぞれのポスターの前で詳しく説明しますので、活発な意見交換をお願いします。時間は、……。 (後略)

ポスターセッション

【発表者(話し手)A】わたしは、ゴミ問題の現状や原因を調べ、わたしなりの解決方法を考えて、実践をしました。まず、地域を歩いて現状を調べました。有明海の海辺にはペットボトルやスーパーの袋などが流れ着いていました。……(中略)佐賀市の燃えるゴミの一年間の合計は、十万吨近くもあります。家庭から出す一人当たりのゴミの量は、全国で佐賀県が一番少ないのですが、事業ゴミより家庭から出るゴミが多いので、……。 (中略) (質問や)意見をお願いします。

【参加者(聞き手)B】具体的な解決方法を聞いて参考になりました。マイバックを使っても、スーパーのトレイがたまります。使わないとゴミにもならず、経済的だと思いますが、容器代はいくらで、なぜ使うのでしょうか。

【発表者(話し手)A】スーパーに行つて尋ねたのですが、この白いトレイは三円、木目トレイは十円もかかるそうです。でも、トレイに入れた方がよく売れるそうです。ラップや新聞紙で包むなど、消費者の意識を変える必要があります。

【参加者(聞き手)C】清掃活動を行うと、一時的にきれいになります。根本的な問題の解決にはなりません。有明海に住む生き物や、ノリなどに、悪い影響はありませんか。

【発表者(話し手)A】詳しくは、調べていません。後日、調べたいと思います。 (後略)

【プレゼンターでは】

一分(人数によっては三十秒)で内容が伝わり、聞きたいと思ってもらえるように工夫して話す。聞き手は、詳しく聞きたい発表や順番を決める。

【発表者のポイント】



発表者は、できるだけ多くの質問に答えられるように予想される質問に対する資料を準備しておきます。明確に答えることができないときには、率直に「調べていません」「分かりません」とありのままを答えます。

【参加者のポイント】



質問をするときには、手を挙げ、指名されてから発言するなどのマナーを守ります。知りたいことを前もって考えておき、分かったことは、メモに取ると、参加者自身の課題の解決に生かすことができます。

ポスター例

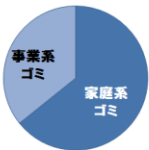
# THINK・ゴミ問題

## 1 現状



有明海に流れ着く生活系のゴミが多い

ゴミの量の割合



家庭系ゴミの割合が多い



家庭から出す一人当たりのゴミは全国で佐賀県が1番少ない

## 2 わたしの解決方法

ゴミにしない!



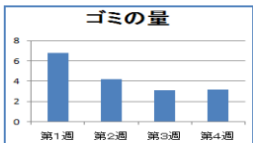
分別回収

ゴミを減らす!



マイバッグ利用  
水筒利用  
食べる分手作り

## 3 わが家のゴミ減量大作戦の結果



5人家族のゴミの量が半減  
部屋もすっきりと片付く  
気持ちもすっきり

## 4 みなさんへの提言

すぐにできることがたくさんあります。  
自分に合った方法を見つけてトライ!

- |                      |  |
|----------------------|--|
| わたしたちにできる<br>3Rの取り組み | リデュース (減らす)<br>リユース (くり返し使う)<br>リサイクル (再資源化) |
|----------------------|--|